

見て、これ以上戦いを続けることを断念し、森の礼拝堂に武器を納めに行く。

同じ礼拝堂で今度はジョヴァンナが聖母マリアにフランスを救う為、武器を与えてほしいと祈りながら、眠ってしまう。父親ジャコモは夜ごと祈りをささげる娘を見、心配しながら見張っている。

ジョヴァンナは夢を見る。悪魔が“可愛いお前は愛の喜びを忘れてはいけない”と囁く。そしてまた今度は、天使たちが“ジョヴァンナよ、お前の欲している剣と兜はここにある。フランスはお前によって解放されるだろう。だが、おまえは世俗の愛を受け入れれば全ては終わりだ。”と警告する。

夢から覚めたジョヴァンナは、そこに剣と兜が置いてあるのを見て驚く。そこへカルロが現れる。ジョヴァンナはカルロに「今こそ起つべき時である」と説いて共に戦場へ行く。父親ジャコモは物陰から娘を見、悪魔がついていると思ひ込み驚愕する。

第一幕・第一場・・・フランス北東部ランスの大聖堂が遠くに望める岩山。

オルレアンの戦いはジョヴァンナの神々しい姿と不思議な力でフランス軍が劣勢を跳ね返し勝利する。イギリス軍最高指揮官タルボットは、なぜ負けたのか自照する。

そこへ父親ジャコモが現れ、わが娘ジョヴァンナは悪魔が付いた「魔女」で、私を裏切ったと言ひ、タルボットと共に戦うことを宣告する。

第二場・・・ランスの宮廷の庭

ジョヴァンナはただひとり、戴冠式を前にして神からの使命も終わり、故郷に帰って年老いた父親との平凡な生活を望んでいる。そこへカルロが登場。ジョヴァンナへの愛を告白する。ジョヴァンナにもカルロに対する愛情が心に芽生えた時、天使たちが“俗世の愛を受けてはならぬ”と警告する。ジョヴァンナは驚き、悩む。カルロはジョヴァンナの態度を見て訝るが、指揮官デリルが士官たちと現れ、ジョヴァンナに軍旗を渡し戴冠式に出席するように告げる。ジョヴァンナへ、今度は悪魔が“娘は俺たちのものだ！俺たちの勝利だ！”と呟く。

第二幕・・・ランスの広場、左に大聖堂

広場を埋めた群衆はフランスの勝利を祝福し、ジョヴァンナを讃えている。そこへ父親ジャコモが来て、ジョヴァンナを激しく非難する。

その時、華やかなラッパの音が大聖堂の内から聞こえてくる。戴冠式が行われ、荘重な賛美歌が歌われ式典が終わる。「カルロ7世」の誕生である。

ジョヴァンナは使命が終わり立ち去ろうとしたとき、カルロ7世はジョヴァンナに対し、その功績を讃えて彼女のために寺院を建立しようと言う。

その時、群衆に紛れていた父親ジャコモが現れ、“そのような冒涇は神が許さん。この娘は預言の森で悪魔と契約した魔女である。”と、ののしる。ジョヴァンナは口を閉ざして抗弁しない。その時、雷鳴が轟く。先程までジョヴァンナを讃えていた群衆は“天のあかした、魔女よ、立ち去れ”と激しく叫ぶ。ジョヴァンナは神のお告げに背いて俗世の愛を受け入れたことを悔やむが、“浄化をお許し下さった神様の明かしに虹を見ました。と